

# 国際シンポジウム 「核燃料サイクルを考える」

主催：福島県

日時 平成17年9月4日(日) 13時30分～16時30分  
場所 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル「JAホール」

## コーディネーター

加藤秀樹(シンクタンク「構想日本」代表)

## パネラー(50音順)

クリスチャン・キュパー(独 ドイツ・エコ研究所)

フランク・フォンヒッペル(米 プリンストン大学教授)

マイケル・シュナイダー(仏 国際エネルギーコンサルタント)

飯田哲也(環境エネルギー政策研究所 所長)

内山洋司(筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻 教授)

河田東海夫(核燃料サイクル開発機構 理事)

橘川武郎(東京大学社会科学研究所 教授)

藤村陽(京都大学大学院理学研究科 助手)

山名元(京都大学原子炉実験所 教授)

吉岡斉(九州大学大学院 教授)

## 次第

13:30 開会

13:30 知事あいさつ

13:35 原子力委員会 新計画策定会議「核燃料サイクル中間とりまとめ」概要説明  
(福島県)

13:45 ICRC レポート報告(飯田、吉岡)

14:00 パネル・ディスカッション

セッション1「安全性・環境適合性」(キュパー、山名、藤村)

セッション2「エネルギーセキュリティ・核不拡散性」(ヒッペル、河田、飯田)

15:00 《 休憩 》

15:15 セッション3「経済性(政策変更コスト)」(シュナイダー、内山、橘川)

15:45 総論、総括(コーディネーター・パネラー全員)

16:25 知事あいさつ

16:30 閉会

～ INTRODUCTION ～

わが国の原子力政策の基本的方向を示す「原子力政策大綱」策定が大詰めを迎えています。この大綱の策定作業の中で、最大の論点となっているのが「核燃料サイクル」です。原子力発電によって生じる使用済み核燃料をどうするかという問題です。

これは、私達だけでなく子々孫々まで大きな影響を及ぼす重要な問題ですが、皆さんにわかりやすい議論はなされているのでしょうか。

このシンポジウムは、核燃料サイクル政策に対し推進の立場をとる方、慎重な立場をとる方、双方をパネラーとしてお迎えし、核燃料サイクル政策を巡るいくつかの論点について、わかりやすくお話しいただき、議論を深めようとするものです。

原子力発電所立地地域である福島県が、議論の場を提供します。

【 コーディネーター ・ パネラー紹介 】 (50音順 敬称略)

コーディネーター

- ・ 加藤 秀樹 (かとう ひでき)

香川県出身

1973年 大蔵省入省

1996年 大蔵省退官

1997年 非営利独立のシンクタンク「構想日本」を設立

同年4月 慶応大学総合政策学部教授を兼務

パネラー

- ・ クリスチャン・キュパー ( Christian Kuppers )

ドイツ出身

現職 ドイツ・エコ研究所 (原子力工学・原子炉安全部 副コーディネーター)

(専門: 放射線生態学、放射線防護、環境影響評価、放射性廃棄物管理、  
プルトニウム利用、核拡散防止、原子炉安全管理)

ドイツ放射線防護委員会委員 (SSK: Strahlenschutzkommission)

ドイツ・フランス委員会

ヨーロッパ原子力共同体条約第37条 専門家部会

- ・ フランク・フォンヒッペル ( Frank von Hippel )

アメリカ出身

1993年～1994年 ホワイトハウス科学技術政策局国家安全保障会議副議長

1994年 米国科学発展学会ヒリアード・ロデリック科学軍縮国際安全保障賞  
を受賞

現 職 米国プリンストン大学公共政策国際関係論教授

プリンストン科学国際安全保障研究事業コーディネーター

『サイエンス・アンド・グローバル・セキュリティ』編集局長

- ・ マイケル・シュナイダー ( Mycle Schneider )

ドイツ出身

1983～2003年 エネルギー情報サービス WiSE-Paris 代表

1997年 国際MOX評価研究で「ライト・ライブリフッド賞」受賞

1998～2003年 フランス環境大臣室アドバイザー

ベルギーエネルギー持続可能開発大臣アドバイザー

2000年 ドイツ環境省原子力問題コンサルタント

- ・ 飯田 哲也 (いいた てつなり)
  - 山口県出身
  - 2001年 NPO 法人環境エネルギー政策研究所を設立
  - 1999年12月～ 経済産業省総合エネルギー調査会新エネルギー部会委員
  - 2000年2月～ 同調査会総合部会委員
  - 2001年2月～ 中央環境審議会地球環境部会委員
  - (株)日本総合研究所 主任研究員(環境エネルギー政策)
  
- ・ 内山 洋司 (うちやま ようじ)
  - 神奈川県出身
  - 1981年 (財)電力中央研究所入所
  - 1997年 (財)電力中央研究所・経済社会研究所上席研究員
  - 1995～2000年 東京工業大学大学院人間環境システム専攻客員教授
  - 2000年 筑波大学機能工学系教授
  
- ・ 河田 東海夫 (かわた とみお)
  - 埼玉県出身
  - 1998年 核燃料サイクル開発機構東海事業所副所長
  - 2000年 同機構経営企画本部バックエンド推進部長
  - 2003年 同機構理事
  
- ・ 橘川 武郎 (きっかわ たけお)
  - 東京都出身
  - 1987年 青山学院大学経営学部助教授
  - 1996年 東京大学社会科学研究所教授
  - 専門分野は日本経営史 著書『日本電力業の発展と松永安左衛門』  
(1995年2月名古屋大学出版会)ほか多数
  
- ・ 藤村 陽 (ふじむら よう)
  - 福島県出身
  - 現 職 京都大学大学院理学研究科助手
  - 専門は物理化学。原子力関係者とは独立の立場の「地層処分問題研究グループ」で、高レベル放射性廃棄物の地層処分について批判的検討を行っている。
  
- ・ 山名 元 (やまな はじめ)
  - 京都府出身
  - 1981年 東北大学大学院工学研究科原子核工学専攻 博士終了
  - 1981～1996年 旧動燃事業団 東海事業所、大洗工学センター
  - 1996年 京都大学原子炉研究所 助教授
  - 2002年 同・原子力基礎工学研究部門 教授
  
- ・ 吉岡 斉 (よしおか ひとし)
  - 富山県出身
  - 1994年 九州大学大学院比較社会文化研究科(現・研究院)教授
  - 専攻...科学技術史、科学技術社会学、科学技術政策
  - 著書...『科学者は変わるか—科学と社会の思想史』(社会思想社)
  - 『原子力の社会史—その日本的展開』(朝日選書)

## ～ MEMO ～

### 入場に際して

危険物の持込は厳禁です。貼り紙・ビラ・掲示板・プラカード・旗・のぼり・垂れ幕・はちまき・たすき・ゼッケン・ヘルメットなど着用、携帯されている方の入場はできませんので、あらかじめご了承ください。

会場内のお席は、自由席となっておりますが、一部関係者席を設けておりますので、ご確認のうえご着席ください。

### 会場内にて

会場では係員の指示に従い、他の参加者に迷惑のかからないようお願いいたします。

以下の事項を守らない場合には、退出していただくことがあります。

- ・ 発言者に対して批評を加え又は拍手その他の方法により公然と賛否を表明しないこと

- ・ 談話をし又は騒ぎ立てるなど進行の妨害となるような行為をしないこと

会場内およびロビーでの物品の販売、ビラ・チラシ等の配布はご遠慮ください。

会場内および8階・9階フロアは禁煙となっておりますので、喫煙は10階の所定の場所をお願いいたします。

携帯電話は、他のお客様のご迷惑となりますので、予めマナーモードに設定するか、電源をお切りくださいますようお願いいたします。

### 福島県企画調整部エネルギーグループ

ホームページアドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/chiiki-shin/energy/kentou.htm>

電子メールアドレス：[energy-g@pref.fukushima.jp](mailto:energy-g@pref.fukushima.jp)

### 福島県生活環境部原子力安全グループ

ホームページアドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/nuclear/>

電子メールアドレス：[genshiryoku@pref.fukushima.jp](mailto:genshiryoku@pref.fukushima.jp)